

令和4年8月24日

9時59分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 14 番 氏名 布施 賢司

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1 高齢者等に向けたデジタル活用支援の推進について

政府では、「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」において、「誰一人取り残さない、人にやさしい、デジタル化」を進めています。社会全体のデジタル化が進められる中、高齢者をはじめとした誰もがデジタル機器・サービスを活用（デジタル活用）することで、多様な価値観やライフスタイルを持ちつつ、豊かな人生を享受できる共生社会を実現することが重要だとしています。

- ① 総務省は令和3年度から、高齢者等が身近な場所で身近な人からデジタル活用について学べる講習会等を推進する「デジタル活用支援推進事業」を類型A（携帯キャリアが携帯ショップで実施）、類型B（地元ICT企業やシルバー人材センター等が地方公共団体と連携して公民館等で実施）で開始していますが、浜田市の取組状況を伺います。
- ② この事業では主に高齢者のデジタル活用を支援する「講習会」や講師が必要になってくると思われますが、浜田市にはICT（情報通信技術）を使える高齢者育成を掲げる「シニアネットはまだ」の団体があります。その団体と連携してこの事業を推し進めることができなにか伺います。

#### 2 旭地域協議会との意見交換会について

(1) テーマ「人口減少」について

① 多くの委員から地域の現状（買物弱者の支援、ネット環境対策、交通手段、生活基盤関連施設の存続等）において、人口減少に拍車がかかっているのではないかと意見が多数ありました。旭町だけではなく中山間地域全体の問題として早急に取組んでいく必要性を改めて感じましたが、市長のご所見を伺います。

(2) テーマ「旭の施設、資源等の今後」について

① 棚田の維持修繕について、地元委員より中山間地域枠で棚田保全活動助成事業補助金を活用して修繕してきたが、予想もしない大雨が降り一番上の石が崩れると、上から下まで全滅状態みたいになる。修繕に対して今年度も2件の要望があり、手出しがあったとし

てもまだ補助金があるうちは維持修繕ができますが、予算付けが終了すれば将来的に耕作放棄地になってしまう可能性を言われました。浜田市における棚田保全に対しての考えを伺います。

② 鉄道遺産である、旭町丸原の広浜鉄道周辺の手すり等がほとんど朽ちていて、見学するには危険箇所があることを地元委員から指摘されました。昨年「全国未成線サミットはまだ」が開催されましたが、数年の準備期間中、ハード整備には予算がついて整備していただいていたと思っておりましたが、この箇所は観光資源の一つとして点検し、対処してこなかったのか伺います。

③ 旭温泉において、コロナ禍で1事業所止められたと聞いており、旭温泉施設は大丈夫なのかと危惧する声が地元でもあります。温泉施設の現状と旭温泉あさひ荘の指定管理者募集の状況を伺います。